

# 第 10 回 西部工場再整備検討委員会 議事録

1 日時 令和5年1月12日（木）10：00～11：20

2 場所 福岡市西部工場 管理棟2階 研修室（福岡市西区大字拾六町 1191 番地）

3 出席者（敬称略）

・委員

氏名	所属・役職等
松藤 康司 委員長	福岡大学 名誉教授
中山 裕文 副委員長	九州大学大学院 工学研究院 准教授
黒瀬 武史 委員	九州大学大学院 人間環境学研究院 教授
田中 昭代 委員	九州大学大学院 医学研究院 講師
濱田 雅巳 委員	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術部長

※委員長、副委員長以外の委員は五十音順

※小出 秀雄委員、塚原 健一委員は、都合により欠席

4 議題

- (1) 施設規模について
- (2) 新西部工場（仮称）基本計画（原案）

## 5 議事録

### 【事務局】

本日は松藤委員長が海外からのオンライン参加ということもあり、円滑な議事進行を図るため、中山副委員長に進行をお願いしたいと思います。委員の皆様よろしいでしょうか。

### 【各委員】

異議なし

### (1) 施設規模について

#### 【委員】

施設規模を1日あたり750トンから690トンに落とした場合、工場の建設費用の抑制に繋がるのか。

#### 【事務局】

建設費用については今後細かく検討していくため回答できないが、一般論として申し上げますと、施設規模を縮小すると建設費用において一定の削減効果が生じる。

#### 【委員】

ごみ減量目標を達成できなかった場合に、施設規模を1日あたり750トンのままにしておいた方がよかったと後からならないか。

#### 【事務局】

そのようなことにならないように、ごみ減量についてはしっかり取り組んでいく。

#### 【委員】

1つの工場で市内全てのごみを処理している場合、施設規模を小さくすると、減量目標を達成できなかったときのリスクは大きいですが、福岡市は複数の工場があるので、施設規模を小さくしてごみを処理できなくなるリスクは小さいと思う。

### (2) 新西部工場（仮称）基本計画（原案）

#### 【委員】

乾式の排ガス処理方式を採用することなどで、基本構想時の想定よりも新工場の工場棟が少し小さくなったと理解しているが、今後、イメージ図より工場棟が大きくなることは概ねないと思ってよいか。

#### 【事務局】

施設のイメージ図は、これまでに定まった事項を反映させることで、基本構想時よりも工場棟を縮小しており、想定される最大の大きさでお示ししている。今後、住宅地側からの圧迫感をより軽減するなど、さらに改善するように努めていきたい。

**【委員】**

プラスチックごみの減量が進むことによるごみ質への影響については、今後、他の政令指定都市の動向などについて十分に情報収集して、さらに検討を進めてほしい。

**【事務局】**

計画ごみ質の範囲を設定するにあたっては、古紙、食品廃棄物、プラスチックそれぞれの減量が進んだ場合や進まない場合を考慮しているため、プラスチックごみの減量が進んだ場合でも計画ごみ質を逸脱し、焼却できなくなるということはないと考えている。

ただし、プラスチックごみについては単純な減量だけではなくバイオプラスチックへの置き換えなども考えられるため、プラスチックごみの減量を進めることでどのような影響があるかについては、社会情勢の変化を含めて情報収集を行い、設計段階などにおいて反映させていきたい。

**【委員】**

プラスチックごみ回収のモデル事業のデータもチェックするなど、今後プラスアルファで確認していくことも必要と考える。

**【事務局】**

ご意見ありがとうございます。

**【委員】**

意見としてだが、環境学習において新工場と西部3Rステーションとの見学時のバス移動経路などのハード面については今後検討して行ってほしい。

**【事務局】**

ご意見ありがとうございます。

**【委員】**

単語の確認であるが、薬剤と薬品という言葉が使われているが、統一した方がいいのではないか。市民の方々が理解しやすい文章にしてほしい。

**【事務局】**

事務局の方で、全体にわたり単語や文章については再度チェックし、修正させていただきたい。

**【委員】**

防災機能の停電に対する備えについては、札幌市でのブラックアウトの事例もあるので、電力会社と意見交換や情報収集を行っていく必要があると考える。

**【事務局】**

清掃工場で発電した電力を近隣の市有施設や電気自動車に供給し、将来的には電気自動車から避難所への電力供給など、最大限有効活用する方策を検討していく。あわせて、今後、電力会社とは意見交換や情報収集を進めていきたい。

**【委員】**

環境学習機能の配慮事項については、他の章と比べると、細かい内容となっており、全体のバランスがとれていないのではないかと。

**【事務局】**

配慮事項は方向性として示しているものであるが、全体のバランスという観点から、事務局の方で再度検討させていただく。

**【委員】**

議論が出尽くしたようなので、これで委員会をお開きにしたい。

**【事務局】**

基本計画の原案については、全体として概ねご了承いただいたので、若干の修正については事務局で修正案を作成し、委員長にご確認いただく形で進めさせていただく。

今年の3月に基本計画を策定する予定としており、本検討委員会は今回をもって最終回となる。委員の皆様には、長期にわたり専門的見地からの様々のご意見を賜り、感謝する。

以上